

# 日本一挑戦プロジェクトの概要

## 子ども・若者プロジェクト

【目指す姿】

～日本一生き育てやすい県への挑戦～

【取組の柱と方向性】

- 1 出逢い・結婚の希望を叶える**  
⇒出逢い・結婚支援の充実・強化
- 2 子どもがほしい人の希望を叶える**  
⇒第2子以降の希望を後押しする  
施策等の展開
- 3 安心して子育てできる教育環境をつくる**  
⇒様々な環境の子どもを支え、夢や  
希望を後押しする教育環境の整備
- 4 若者・女性を重視した人口減少  
対策の強化**  
⇒若者・女性が生き生きと活躍できる  
宮崎づくりの推進



## グリーン成長プロジェクト

【目指す姿】

～再造林率日本一への挑戦～

【取組の柱と方向性】

- 1 循環型林業の推進**  
⇒産学官・県民が丸となった  
再造林に係る“宮崎モデル”の構築
- 2 循環型農水産業の推進**  
⇒地域資源を最大限活用する  
宮崎らしい取組の構築
- 3 脱炭素化による成長の実現**  
⇒各産業部門の脱炭素経営の推進



## スポーツ観光プロジェクト

【目指す姿】

～スポーツ環境日本一への挑戦～

【取組の柱と方向性】

- 1 世界レベルのキャンプ・大会の  
戦略的な誘致**  
⇒競技別部会、ワンストップ窓口等  
による誘致・受入体制の強化
- 2 戦略的・計画的なハード整備**  
⇒スポーツ施設整備計画による施設  
の高質化
- 3 県内全域のスポーツ環境の充実  
(全県化・通年化・多種目化)**  
⇒市町村が取り組むスポーツ施設  
整備等への支援



✓ 日本一挑戦プロジェクト推進基金 **30億円** を創設(令和6年度)

✓ 令和8年度当初・令和7年度2月補正予算 **104.2億円(159事業)**

# 子ども・若者プロジェクト①

## 1 令和7年度の主な取組状況

### 1 第2子保育料の負担軽減

#### 【取組内容】

市町村と連携して、1/2負担である第2子(0~2歳)の保育料を1/4負担へ軽減



#### 【実績】

令和7年9月から全ての市町村で実施

### 3 AI教材を活用した児童生徒の学力向上

#### 【取組内容】

CBT※単元テスト(自動採点やAIによる分析を含む)やデジタルドリルを導入

※コンピュータ上で実施するテスト



#### 【実績】

県内全ての公立小学校5年生、中学校2年生にアカウントを配付・活用

### 2 放課後児童の居場所確保

#### 【取組内容】

待機児童の解消のため、国が定める放課後児童クラブ以外の居場所づくりに独自に取り組む市町村を支援



#### 【実績】

3市6施設にて65人の受け皿を確保

### 4 女性にやさしい職場づくり

#### 【取組内容】

ソフト・ハード両面から女性にやさしい職場環境づくりに取り組む企業を支援



#### 【実績】

えるぼし認定※を受けた企業数:5社(累計13社)

※女性の活躍推進に関する取組等が優良な企業を厚生労働大臣が認定する制度

## 2 主な指標の進捗状況

	R5	R6	R7(現況値)	目標値
合計特殊出生率※1	1.63(R4) 全国第2位	1.49(R5) 全国第2位	1.43(R6) 全国第3位	1.8台(R8) 全国第1位
婚姻数※1	3,805組(R4)	3,592組(R5)	3,444組(R6)	4,500組(R8)
男性の育児休業取得率	36.4%(R5)	55.0%(R6)	60.9%(R7)	50.0%(R8)
社会動態※2	▲1,165人(R5)	▲110人(R6)	▲2,866人(R7)	0人(R8)
県内企業の管理職(係長相当職以上)の女性割合	23.2%(R4)	24.3%(R5)	28.7%(R6)	30%(R8)

※1:暦年

※2:前年10/1~当年9/30の1年間

# 子ども・若者プロジェクト②

## 3 令和8年度の主な取組

### 1 より多様な出逢いの機会創出

- ・多様な手法(バス・フェリー・航空機)を用いた県外独身者との婚活ツアー
- ・「ひなたの縁結びさん」によるお引き合わせ



### 2 子育て環境のハード整備

- ・県立施設(芸術劇場や図書館等30施設程度)に可動式個室授乳室を設置
- ・民間施設(飲食店や商業施設等)におけるオムツ替え・キッズスペース等の整備を支援



### 3 子育てに係る経済的支援の強化

- ・「子育て応援手当」の県独自上乗せ(1.5万円)  
※国支給分を含め、18歳以下の子ども1人当たり3.5万円を支給
- ・小学校給食費や高校授業料の無償化



### 4 女性も男性も共に活躍できる環境づくり

- ・女性活躍に積極的な企業の情報発信
- ・家事や育児等の負担を分かち合う「とも家事」の年間を通じたプロモーション



### 5 移住支援の充実や関係人口の創出・拡大

- ・中山間地域における若者・子育て世代に重点を置いた空き家改修支援
- ・新東京ビルを拠点とした関係人口創出



### 6 若者・女性の県内定着・活躍促進

- 若者のUIターン就職促進、スキルアップ・起業支援
- 女性にやさしい職場環境づくりに取り組む企業の支援(ソフト・ハード)

# グリーン成長プロジェクト①

## 1 令和7年度の主な取組状況

### 1 造林適地における再造林支援の強化

#### 【取組内容】

造林適地での補助率高上げ  
基本68%+高上げ分「県11%+市町村11%」

#### 【実績】

再造林面積がR6(2,079ha)より  
200ha以上増加(見込)



### 2 再造林推進ネットワークの相談体制強化

#### 【取組内容】

再造林の推進や森林の集約化等を図るため、森林相続等に関する相談会や相談体制構築検討会を開催

#### 【実績】

相談会3回(相談件数64件)



### 3 有機農業の産地づくり・販路拡大等の支援

#### 【取組内容】

化学肥料使用量の低減につながる有機農業への転換等を支援

#### 【実績】

- ・有機の生産体制づくりへの支援(資機材導入):8者
- ・有機JAS転換を支援した耕地面積:137.7ha
- ・東京のレストランでの有機農産物フェア開催:6店舗



水田自動除草ロボット

### 4 養殖業のグリーン化促進

#### 【取組内容】

環境負荷低減型養殖業に向けた取組支援

#### 【実績】

- ・陸上養殖での環境負荷低減に向けた機器導入支援:1者
- ・海藻等の養殖開始・生産拡大への支援:6者



## 2 主な指標の進捗状況

	R5	R6	R7(現況値)	目標値
再造林率	73%(H30~R2平均) 全国第3位	78%(R5) 全国第4位	79%(R6) 全国順位調査中	90%以上(R8) 全国第1位
再造林推進ネットワーク 会員数	—	173者(R6)	315者(R7)	400者(R8)
粗飼料自給率	87%(R4)	86%(R5)	87%(R6)	100%(R8)

# グリーン成長プロジェクト②

## 3 令和8年度の主な取組

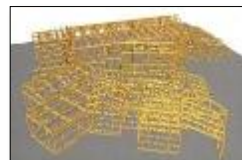
### 1 再造林の「入口」支援の強化

- 再造林につながる植栽や下刈り作業等に対する補助金の大幅引上げを継続
- ※基本68%+嵩上げ分「県11%+市町村11%」  
(68%⇒90%)



### 3 木造建築におけるDXの推進

- ・建物の設計・施工・管理に関する情報を3次元で一元的に処理可能な「3次元情報管理システム」等を活用できる建築士の育成やシステムの導入を支援



### 2 海外展開による木材需要の更なる拡大

- ・台湾でのトップセールスや新規輸出国の開拓に向けたトライアル輸出を支援



### 4 施設園芸におけるスマート農業の推進

- ・データの見える化やAI分析による作物に適した施肥など管理の最適化を通じ、施設園芸の生産性向上と環境負荷低減に資する取組を支援



### 5 本県の強みを生かした再エネ利用の促進

- ・畜産バイオマス発電設備の導入を支援し、エネルギーの地産地消を促進



### 6 粗飼料自給率100%に向けた取組加速化

- 粗飼料生産・利用拡大に向けた地域コンソーシアムの体制強化や機械・施設整備等を支援



# スポーツ観光プロジェクト①

## 1 令和7年度の主な取組状況

### 1 世界レベルの大会等の誘致・開催

#### 【取組内容】

競技団体等と連携した国際大会等の  
戦略的な誘致

#### 【実績】

- ラグビーリーグワン公式戦初開催
- 国際自転車ロードレース  
「ツール・ド・九州」初開催
- 国際テニス大会「ATPチャレンジャー大会」初開催 など



### 2 国スポ施設等を活用したキャンプ誘致

#### 【取組内容】

「競技別誘致部会」(ラグビー、水泳、テニス等5部会)を設置し  
関係機関等と連携した誘致を展開

#### 【実績】

- 競泳韓国代表合宿受入  
(パーソルアクアパーク宮崎)
- 日本テニス協会冬季男子強化合宿  
(ひなた TENNIS PARK MIYAZAKI) など



### 3 戦略的・計画的なハード整備

#### 【取組内容】

国際水準の受入環境実現のため、  
施設改修等を実施

#### 【実績】

- 国際水準のテニスコート整備
- 既存施設の改修  
(県総合運動公園ラグビー場:芝張替、屋外型トレセン:東屋設置)



### 4 市町村のスポーツ施設・合宿所の整備支援

#### 【取組内容】

合宿や大会受入れのため、市町村が実施する環境整備を支援

#### 【実績】

12市町のスポーツ施設・合宿所等の整備を支援  
(スポーツ施設・設備:12市町、合宿所:3市)

## 2 主な指標の進捗状況

	R5	R6	R7(現況値)	目標値
プロチームキャンプ数 (野球・サッカー・ラグビー)	32チーム(R4) 全国第2位	31チーム(R5) 全国第2位	34チーム(R6) 全国第2位	43チーム以上(R8) 全国第1位
国内外代表のキャンプ数	7チーム(R5)	8チーム(R6)	16チーム(見込)(R7)	20チーム(R8)
春季キャンプ・合宿の 経済効果	118億円(R5春季)	107億円(R6春季)	99億円(R7春季)	150億円(R9春季)
観光入込客数※	12,691千人回(R4)	13,574千人回(R5)	15,315千人回(R6)	16,500千人回(R8)

※:暦年

# スポーツ観光プロジェクト②

## 3 令和8年度の主な取組

### 1 大規模大会・キャンプの受入促進

多  
種  
目  
化

- ラグビーリーグワン等の公式戦の開催支援やツール・ド・九州の開催
- テニスの国際大会や全国大会等の誘致・開催
- 国内外代表チームの合宿誘致・受入支援



### 3 Jリーグ新シーズン移行に伴う誘致強化

- 夏季キャンプで各Jリーグクラブの受入れを行う市町村に対し、チームのサポートに要する経費等を支援



### 5 市町村のスポーツ施設・合宿所の整備支援

全  
県  
化

- 合宿や大会受入れのため、市町村が実施する環境整備を支援

### 2 年間を通じた大会開催等の支援

通  
年  
化

- キャンプシーズン以外の期間(4~12月)におけるスポーツ大会・イベントの開催を支援
- アマチュアスポーツ団体の宿泊費用やバス借上などの合宿費用を支援



### 4 地元プロチーム応援による地域活性化

- 地元プロチームが県有施設で試合やイベントを行う際の応援バスの借上料やイベント開催経費を支援



### 6 宿泊施設の立地・改修促進

- プロスポーツキャンプや大規模イベント等の更なる誘致や経済効果の最大化を図るため、宿泊施設の新規立地やキャパシティ拡充等を支援



## 主な関連事業

朱書き・網掛け…8年度からの新たな取組、改善する取組  
 「◎」…日本一挑戦P]推進基金を財源とする取組（他財源と併せて構成する取組を含む）  
 「・」…その他一般財源、国庫、宮崎再生基金等を財源とする取組  
 「※」…上記の事業数、予算額の外数となる取組

<b>1 出逢い・結婚支援の充実・強化</b>	
◎県内と県外の独身者をつなぐ婚活イベントの拡充 カーフェリー(関西)に加え、バス(福岡)、航空機(関東)を活用した婚活ツアーの開催 24百万円	◎結婚へのポジティブイメージや社会機運の醸成 蛙亭イワクラ氏「ひなたの恋 応援アンバサダー」委嘱、メディア戦略の強化 69百万円
◎地域における新たな出逢いの機会創出やライフステージに応じた支援 「ひなたの縁結びさん」によるお引き合わせや「ひなたの出逢い・子育て応援運動」の推進 25百万円	◎結婚支援コンシェルジュによる市町村・企業との連携強化 みやざき結婚サポートセンター内に2名配置(市町村担当、企業担当) 14百万円
◎結婚支援サービス利用への初期費用相当額の支援 民間のマッチングアプリや結婚相談所の利用料補助 16百万円	・みやざき結婚サポートセンターの運営(※) 1対1の出逢いのサポート 42百万円
<b>2 第2子以降の希望を後押しする施策等の展開</b>	
・物価高に対応した子育て世帯の経済的負担軽減 国が支給する「物価高対応子育て応援手当(2万円)」に1.5万円上乗せ 2,647百万円	・市町村と連携した第2子保育料(0～2歳児)の負担軽減 現行の利用者1/2負担を1/4負担へ軽減 322百万円
◎公共・民間施設へのハード整備(授乳室・キッズスペース等) 県立施設への授乳室の設置、商業施設等への授乳室・おむつ替えスペース等の整備支援 135百万円	◎男性の育児休業取得、家事参加の促進 男性の育児休業取得奨励金、企業連携型子育て応援イベント、パパ向けワークショップ 32百万円
・「こども誰でも通園制度」を実施する市町村への支援 生後6か月～2歳児を対象とする「こども誰でも通園制度」の運営費の一部を負担 20百万円	◎放課後児童クラブの待機児童解消 放課後のこどもの居場所確保支援、保育人材の確保強化 30百万円
◎不妊検査・治療、妊産婦健診の経済負担軽減 不妊検査・治療費助成、妊産婦健診の交通費助成 167百万円	◎病児保育の利用促進 予約システムの導入補助、施設の利用料助成 15百万円
<b>3 様々な環境の子どもを支え、夢や希望を後押しする教育環境の整備</b>	
・小学校給食費・高校授業料の「いわゆる無償化」(※) 市町村立小学校等の給食費や公・私立高校の授業料を国と連携して負担 9,978百万円	◎高校生の海外留学支援 留学体験(アメリカ、アジア)、ファームステイ(オセアニア)等 72百万円
◎AI教材を活用した児童生徒の学力向上 コンピュータ上でのテスト(CBT)やデジタルドリル、モデル校へのAI英語アプリの導入等 46百万円	◎不登校等支援の強化 県教育支援センター「コネクト」の設置、全公立学校へのSC・SSW等配置・派遣 284百万円
<b>4 若者・女性が生き生きと活躍できる宮崎づくりを推進</b>	
◎若者・女性に向けた企業情報発信や「とも家事」の推進 学生レポーターによる企業の魅力発信やSNSキャンペーン・啓発イベントの開催 28百万円	◎女性にやさしい職場環境づくりに取り組む企業への支援 女性活躍に関する取組への奨励金、女性が働きやすい環境整備への補助金 95百万円
◎若者の移住支援 市町村の空き家改修支援、移住支援金・移転費等の支給を行う市町村への補助 427百万円	・若者のUIターン就職促進 移住支援金対象外の29歳以下の移住者への給付金、就職活動費用等の補助 121百万円
◎関係人口の創出 東京ビル活用による関係人口創出やLINE等の活用による移住相談の機能強化 118百万円	・中高生が県内企業の魅力に触れる機会の拡大 中学生の職業体験機会の充実、工業系高校の企業見学・デュアル教育システムの強化 80百万円

## 主な関連事業

朱書き・網掛け…8年度からの新たな取組、改善する取組  
 「◎」…日本一挑戦P J推進基金を財源とする取組（他財源と併せて構成する取組を含む）  
 「・」…その他一般財源、国庫、宮崎再生基金等を財源とする取組  
 「※」…上記の事業数、予算額の外数となる取組

<b>1 産学官・県民が一丸となった再造林に係る“宮崎モデル”の構築</b>	
◎造林適地における再造林支援の大幅な強化 造林適地での補助率嵩上げ 68%+「県11%+市町村11%」	467百万円 ・再造林支援(※) 森林整備に要する経費に対する補助 1,883百万円
◎相続等に関する森林所有者向け相談体制の構築 相談会の開催、地域再造林推進ネットワークの相談体制の強化、事例集の作成	5百万円 ◎植栽未済地の解消による再造林の加速化 再造林につながる灌木等の除去を支援 20百万円
・県産材の需要拡大 デジタル化による非住宅木造化の推進、台湾でのトップセールスやトライアル輸出支援	82百万円 ◎林業の採算性向上 ドローン資格取得支援、J-クレジット制度周知・認証支援、コンテナ苗生産拡大等 49百万円
◎林業の担い手・事業体の確保・待遇改善 新たな造林事業の開始・拡大支援、短期雇用者就労支援、林業大学の運営等	199百万円 ◎再造林推進の連携体制構築、県民意識の向上 地域再造林推進ネットワークの活動支援、森林所有者等への普及啓発等 34百万円
<b>2 地域資源を最大限活用する宮崎らしい循環型農水産業モデルの構築</b>	
・スマート農業の導入等による生産性向上(※) AIやデジタル技術を活用した施設園芸の効率化、機械導入支援、技術実証	166百万円 ◎グリーン農業(有機農業など)の拡大加速化 新技術の実証・普及、有機農業の産地づくり・販路拡大等支援、J-クレジット(農業)のモデル創出 163百万円
◎畜産バイオマスの利用拡大 畜産バイオマスの利用に向けた調査・検討、発電設備導入支援	1,156百万円 ◎藻場造成による生産力向上とブルーカーボンの創出 造成藻場におけるフォローアップ調査、ガイドライン作成 10百万円
・農水産業の担い手確保や人材育成(※) スマート農業や有機農業等のカリキュラムの強化、就労環境整備、雇用人材の活用推進	56百万円 ・養殖業のグリーン化促進 環境負荷の少ない人工種苗・飼料への転換、藻類の養殖導入支援等 15百万円
◎耕畜連携による地域資源<飼料用米・稲わら・堆肥等>利用拡大の加速化 地域コンソーシアムの機能強化、施設整備支援、人材確保等	56百万円
<b>3 各産業部門の脱炭素経営の推進</b>	
◎脱炭素経営への理解促進、普及啓発 セミナー開催、排出量の見える化への支援	20百万円 ◎産業部門<主に製造業>における優良事例の創出 産業振興機構による伴走支援、脱炭素技術検証への支援等 24百万円
・物流部門の脱炭素化促進(※) 共同配送網の構築やモーダルシフトなど物流の最適化に向けた支援	59百万円 ・住宅・事業所の脱炭素化支援 太陽光パネル、蓄電池などの導入支援 226百万円
・事業者向け脱炭素化の啓発 脱炭素社会の実現に向けた機運醸成、行動変更促進	10百万円 ・脱炭素に係る中小企業融資制度(※) ゼロカーボン応援貸付金 33百万円

## 主な関連事業

朱書き・網掛け…8年度からの新たな取組、改善する取組  
 「◎」…日本一挑戦P]推進基金を財源とする取組（他財源と併せて構成する取組を含む）  
 「・」…その他一般財源、国庫、宮崎再生基金等を財源とする取組  
 「※」…上記の事業数、予算額の外数となる取組

1 世界レベルのキャンプ・大会の戦略的誘致		
◎大規模なスポーツ大会やキャンプ等の開催・受入支援 ラグビー公式戦やサーフィン国際大会等の開催や日本テニス協会等のキャンプ受入支援	78百万円	・国際自転車ロードレース「ツール・ド・九州2026」大会の開催(※) 2026大会の開催、大会の情報発信や当日イベント等
・官民一体となったスポーツイベント・大会やキャンプの誘致 イベント・大会等を主催する団体への補助、アマチュア団体の宿泊・移動費用支援	102百万円	◎男女の国際テニス大会の開催支援 男子「ATPチャレンジャー大会」、女子「ITF国際大会」
◎Jリーグ新シーズン移行に伴う誘致強化 夏季キャンプを行うチームへのサポート、サマーギフト贈呈	4百万円	・戦略的誘致セールスの実施 誘致コーディネーターの配置、大学等へのセールス・セミナー、経済効果分析等
・スポーツメディカル体制の構築(※) スポーツ大会等へのスタッフ派遣、メディカル調整のワンストップ化等	23百万円	◎スポーツキャンプに関する相談体制の強化 総合相談窓口「ひなたスポーツ観光ステーション」設置、競技別誘致部会の設置
◎地元プロスポーツチーム応援による地域活性化 ホーム会場での応援バス借上、ファン交流イベント開催等を支援	3百万円	・プロ野球キャンプの環境充実 球春みやざきベースボールゲームズ、ファーム選手権、フェニックスリーグ開催支援
2 戦略的・計画的なハード整備		
◎県総合運動公園のスポーツ施設改修 ひむかスタジアムの両翼拡張など、プロチーム・アスリートに対応した施設の高質化	418百万円	・屋外型トレーニングセンターの管理運営(※)
・木崎浜海岸のサーフィン環境充実(※) 木崎浜海岸へのアクセス道路やサーフィンセンター駐車場の整備	155百万円	・木崎浜サーフィンセンターの管理運営(※)
・宿泊施設の立地促進やキャパシティ拡充(※) アスリート等が宿泊する施設の新設・既存施設の宿泊定員数の拡充を支援	100百万円	
3 県内全域のスポーツ環境の充実		
・全県化に向けたスポーツ施設・合宿所の整備支援(※) 市町村による施設整備・資機材導入、スポーツ合宿所等整備支援	126百万円	・スポーツツーリズムの推進(一部※) ゴルフやサーフィン、サイクリングなどのスポーツを生かした誘客促進
・キャンプ・合宿に向けた既存宿泊施設の充実 窓口自動化等の生産性向上、サービス向上支援	128百万円	